

7月
28日

伝統の輝き

～尾張津島天王祭・朝祭～

尾張津島天王祭は、その名称や宵祭・朝祭が津島市で行われることから、津島市内の団体のみで行われていると思われがちですが、車楽舟行事の朝祭において、津島五車より常に先を進む市江車は、東保町を中心とした幼児から大人まで大変多くの人々が担い手となっています。

能人形や色鮮やかな幕などで飾られた絢爛豪華な市江車が、津島五車を率いて丸池に繰り出す姿は圧巻で訪れた人を魅了していました。途中、市江車から10人の鉾持ちの若者が次々に丸池に飛び込むと、観客からは大きな歓声と拍手がわき起こっていました。

御旅所に到着した車楽舟から児や関係者が下船すると、神輿を中心に行列をつくって津島神社へ向かいます。津島神社本殿へ神輿が戻ると、市江車の児や関係者、奏楽団が拝殿に上がり、奏楽を奉納しました。

